

様式第2号（政務活動実施報告書）

平成31年1月29日

井原市議会議長
西田 久志 様

井原市議会議員 山下 憲雄

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成31年1月16日（水）～1月17日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	1月16日（水） 14:00～16:30 議員20年の経験から話す こんな時どうする？議会質問編 「政策実現のために、質問後に動く議員活動の仕方」 1月17日（木） 10:00～12:30 議員の仕事 基礎編 ～議会と会派と議員のありかた～ 14:00～16:30 議会から仕掛ける シティプロモーションとマーケティング
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	1月16日（水） 14:00～16:30 日本公共経営研究所 代表 宮本 正一 様 1月17日（木） 10:00～12:30 14:00～16:30 麗澤大学地域連携センター 客員研究員 松野 豊 様
5. 活動内容	別添のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

講師：宮本正一講師

受講日：平成31年1月16日(水)

一日目の研修テーマ「政策実現のために、質問後に動く議員活動の仕方」

この度の講座の受講目的は何かについて自問しなければならなかった。私は議員になって以来、「一般質問だけが議員活動ではない、真の政治活動を行う議員とはどのような人か？」考えてきた。

私は今回の受講にあたり、2年目の議員生活を整理反省する目的で参加した。

普段から議会活動と議員活動のバランスに迷いがあったが、受講によりこれまでの政治活動を見直し、議員生活（議会活動、議員活動）を効果的に行い、市民に広報していく必要があることを強く感じたのである。

これからは、議会での一般質問においても自身の政治ポリシーを持ち、年間の総合戦略として計画の組み立てを行いたい。常任委員会やその他の委員会活動の中でも、年間の戦略的原稿を考えることが政治ポリシーの樹立につながると思った。

講師：松野 豊 講師

受講日：平成31年1月17日(木)

二日目(午前)の研修テーマ「議会と会派と議員の在り方(基礎編)」

私たち井原市議会議員は、井原市をよくしていこうとする思いで選挙戦を戦い抜き選ばれた人の集まりである。市議会議員のグループダイナミクスをどのように発揮すべきか考えた講義であった。以下のように内容を整理する。

1、議員同士の信頼関係を築く

会派党派を超えて「井原をよくしていこう」の主張のもと、まずは人間同士の関係が重要である。

2、議員同士は、淡々と理論的に議論をすること。

二元代表制の真の理解が議員全員の腹にあれば、議会改革のスピードは上がると思う。個人のスタンドプレーが目立てば選挙には強くなるが、議会をけん引する存在にはなれないことと思う。

3、議員立候補者が危ぶまれる中で「議会とは何か、議員とは何か、改革の先にあるものは何か」議員同士でトコトン議論を重ねる必要がある。

二日目(午後)の研修テーマ

「議員から仕掛ける(シティプロモーションとマーケティング)」

少子高齢化で人口減少はなお進行している中、シティプロモーションは本市の活性のカギを握っていると思う。

シティプロモーションとは、「地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと」である。すでに井原市ではイメージ向上やブランドの確立を目指し、地元経済の活性化を目的に取り組んでいる。

観光資源を磨き観光客を増やすこと、転入移住者を増やすことなど多くの施策を実施している。これらはすべてシティプロモーションである。シティプロモーションはマーケティング手法によって行われる。しかし、確かな成果を上げているとは言い難い。マーケティングは専門性も高く、この手法の活用にあたってはそうした専門家と一緒に考えで行うことが効果的であると思う。

我々議員においては、これらのマーケティング手法を活かして、例えば議会だよりなどの発行においても誰に読んでもらいたいのか、期待する反応はどうかといった目的、目標を KPI (key performance indicator 「主要業績評価指標」) として明確にすることが議会改革の向上にも必要だと思った。

以上